

議会だより



ピカピカの1年生

第1回臨時会 功労者表彰などを補正……………	2
第1回定例会 レークサイド桜岡運営安定化助成金などを補正……………	2～3
平成30年度予算決まる 予算特別委員長報告ほか……………	4～5
予算特別委員会 質疑レポート……………	6～9
一般質問 6名が登壇……………	10～15
みんなの声がちづくり……………	16

No.122

2018年6月発行

発行：剣淵町議会
編集：議会広報特別委員会
〒098-0392 剣淵町仲町37番1号
☎0165-34-2121
<http://www.town.kembuchi.hokkaido.jp>

平成30年
第1回臨時会
2月15日

補正予算

- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
内容は月額報酬額が適用されている各種委員会委員等の報酬額の改定です。

可決

町道路線認定

- 平成28年度建設の仲町教職員住宅前を整備した道路、延長40.48mを町道と認定しました。

可決

管理者の指定

- 桜岡宿泊研修施設等及び農林水産物直売・食材供給施設(道の駅)について、下記団体を指定管理者とする。

指定期間は本年4月より3年間です。

剣淵町東町5141番地

㈱レークサイド桜岡

代表取締役社長 早坂純夫

可決

功労者表彰

剣淵町議会議員として8期32年にわたり、この間議長として3期12年務められ、町政の伸張と地方自治の確立に多大の貢献をされた功績により、前議長の大河邦晃氏が剣淵町表彰条例に基づく特別功労者として表彰されることに決定しました。特別功労表彰は9月1日に行われる予定です。

また、3月2日議場において表彰条例に基づく功労者の表彰式が行われ、前議長の大河邦晃氏、町議会議員を5期20年にわたり務められた前議員の武山啓一氏、同じく古山久雄氏に町長から表彰状等が授与されました。



大河前議長 議場での謝辞

- 一般会計に60万円を追加しました。
内容は3名の功労者表彰に28万円、空き公営住宅維持管理に32万円です。

可決

- 国民健康保険事業特別会計に554万円を追加しました。

内容は一般被保険者高額療養費です。

可決

- 町立診療所特別会計に180万円を追加しました。

内容は医薬材料費に125万円、A重油単価値上がりによる燃料費に55万円です。

可決

平成30年
第1回定例会
3月2日~12日

条例改正

- 長寿祝金支給条例の一部改正

内容は支給日の前日までに死亡した者は祝金を支給しないものとするに改めました。

可決

- 国民健康保険条例の一部改正

内容は国民健康保険法の改正に伴う条文の文言見直しを行うものです。

可決

- 介護保険条例の一部改正

内容は介護保険料の改正と条文の文言見直しを行うものです。

可決

- 健康診査手数料条例の一部改正

内容は手数料の種類にヘリコバクターピロリ菌検査、1回当たりの手数料の額に600円を追加するものです。

可決

- 特別職の給与に関する条例の一部改正

内容は特別職三役の給料月額改定です。

可決

- 町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

内容は町議会議員の報酬月額改定です。

可決

- 平成30年度簡易水道事業特別会計予算
可決
- 平成30年度下水道事業特別会計予算
可決

補正予算

- 一般会計に3,543万円を追加しました。
主な内容はレークサイド桜岡運営安定化助成金に3,100万円、例年より多い積雪で除排雪の稼働増のため、除雪費に1,547万円などを補正するものです。
可決
- 国民健康保険事業特別会計に3,480万円を追加しました。
主な内容は高度な治療が必要な一般被保険者が見込みより増加したことによる療養給付費の増額などです。
可決
- 町立診療所特別会計に122万円を追加しました。
内容は旧病棟のデイサービス利用による光熱水費の増、インフルエンザ予防接種者増による医薬材料費などです。
可決
- 介護保険事業特別会計から966万円を減額しました。
主な内容は介護サービス利用者や施設利用者、福祉用具購入利用者が見込みより少なかったことによる減額です。
可決

発議

- 閉会中の継続調査の申し出

議会運営委員会	総務厚生常任委員会	産建文教常任委員会
議会の会期日程等議会の運営に関する事項について	福寿寮の現状と課題及び高齢者福祉住宅について	町有林の調査について

- 懸案事項の促進及び調査のための議員派遣
・全道町村議会議員研修会
札幌市 平成30年7月3日(2日間)

条例制定

- 町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例制定
内容は介護保険法一部改正により指定居宅介護支援事業所の指定権限が市町村に移管することに伴い町条例を制定するものです。
可決

予算

平成30年度各会計予算は特別委員会に付託し審議しました。主な質疑内容は6～9ページに掲載しています。

- 平成30年度一般会計予算
可決

賛成討論

大澤秀明議員



本年度は前年を超える基金を取崩しての大変厳しい予算編成となりました。その中で消防可搬ポンプ積載車やスクールバス更新、防災行政ラジオの購入など安心安全な町づくりを目指す上で重要となる事業を計上できたことは評価できます。キヌア特産品化に向けた取り組みは戦略的な目標かつ具体的な数値を示せました。事業によっては何年も継続してきた中で当初の目的に添えているのか疑問を感じる事業も何点か指摘されてきました。改めて継続事業を見直して精査していくことも重要と思います。負担が増えてきて基金の取り崩しもやむを得ない状況の中、収入増となるようこれまで以上に攻めの行政運営を行っていく必要があります。攻めの行政とは決して新事業にどんどん取り組んでいくこと、箱物を作っていくことではありません。皆が一体となり事業精査を進めそれぞれの事業が最大限の効果を生み出していくことに努めていくことだと思いますのでそのことを強く期待し賛成討論とさせていただきます。

- 平成30年度国民健康保険事業特別会計予算
可決
- 平成30年度国民健康保険剣淵町立診療所特別会計予算
可決
- 平成30年度後期高齢者医療特別会計予算
可決
- 平成30年度介護保険事業特別会計予算
可決

平成30年度 予算決まる

総額
53億4,440万円

一般会計

36億7,700万円

- 仲町南団地公住個別改善工事
- 可搬消防ポンプ積載車導入
- スクールバス更新事業
- 開基120年記念事業

国民健康保険
町立診療所特別会計

9,090万円

国民健康保険事業
特別会計

6億700万円

介護保険事業特別会計

4億8,520万円

後期高齢者医療特別会計

5,160万円

下水道事業特別会計

2億340万円

簡易水道事業特別会計

2億2,930万円

予算特別委員会委員長報告



開基120年を迎えて
新たなチャレンジを

予算特別委員会 委員長 高橋 毅

平成30年度予算は、一般会計が36億7,700万円、6特別会計を加えた予算総額は53億4,440万円となります。基金の取り崩しが前年度を超える予算編成になったことから、慎重かつ厳格な予算執行を求めるものであります。

地方創生の一つである「けんぶち農業ブランド化推進事業」は3年目を迎え、剣淵産の農産物等の更なるブランド力の向上に期待するものです。特にキヌアについては、特産品化に向けて新たに播種機、粗選機を購入するなど具体的な戦略も示され、今後の展開が期待されることから、更に協力農家戸数を増やし、継続して力を入れていくべきと考えます。

商工業振興策では、昨年に引き続き「プレミアム商品券」発行支援は、町民からの評判もよく、地域振興に期待するものです。剣淵観光の拠点でもある道の駅は、オープン時から使用してきたパン焼き機を更新することにより、収益の増加に期待します。

また、消防可搬ポンプ積載車やスクールバス更新、防災行政ラジオの購入などは、町民が生活する上で重要な事業と考えます。

平成30年4月から、国民健康保険事業では財政運営主体が北海道に移行するとともに、介護保険事業では介護保険料が改定となります。被保険者の負担に配慮しつつ、安定的な制度運営を望むものです。

一方、厳しい財政状況の中、長年にわたり続いている事業、また増加する委託業務については一度検証し、見直しも視野に各事業の精査が必要と考えます。

厳しい経営状況が続くレークサイド桜岡については、部門別費用対効果を把握し、抜本的な経営改革が必要とされています。町民の皆様には、レークサイド桜岡に対して一層の利用促進の御協力を願うものです。

更に補修改修を必要とされる公共施設も多くなっています。中でも学校施設については、学校長寿命化改修基本計画の策定は早い時期から町民に話題提供し、意識の共有が必要だと考えます。近年、様々な分野で計画の策定が求められるようになり、後手に回った対応も見られることから、先を見据えた行政運営に期待するものであります。

今年、剣淵町開基120年の節目の年となり、関連予算も組込まれています。今日、今日の地方を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあります。国は、地方創生により新たな取り組みを行う自治体に対し、補助金を投入する政策を打ち出しています。職員は、普段の住民サービスと同時に進んで事業に対応しなければなりません。職員は、普段の住民サービスと同時進行で事業に次々と新しいことにチャレンジして成功を収めている例が多くあります。そのためには、行政だけではなく、町民の皆様と力を合わせて取り組まなければ成功はあり得ません。官民が一体となり厳しい時代を乗り越え、「絵本の里けんぶち」が今後ますます発展していくことを期待し、委員長報告いたします。

新規

開基120年記念事業

310万円

記念式典 9月1日(土) 開催
120年記念誌発刊

絵本の里を創ろう会
結成30周年記念事業

85万円

祝賀会、記念誌・ふるさと紙芝居制作



スクールバス
2,300万円

マイクロバス
939万円

新規

町有バス更新事業

平成11年式のスクールバス、
平成14年式のマイクロバスを
更新します。

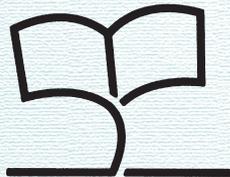
継続

農業ブランド化事業

子どもにやさしい農産物の付加価値
とブランド力の向上事業



絵本の里
けんぶち町
北海道
Made in Kembuchi



1,655万円

継続

観光振興対策事業

1,842万円

サイクリング事業実行委員会補助金

250万円

8月4日(土) 開催



新規

ひらなみ荘 給水給湯管設備

改修工事補助金

1,824万円

工事費の1/2を補助します



継続

除雪対策事業

冬期間の除排雪事業



8,554万円

平成30年度
予算特別委員会
質疑

【生出委員】

住宅使用料の中で公営住宅の空き家が増えて37万円の減とあるが、これは入居可能であるにも関わらず空き家になったものなのか、それとも政策的空き家ということによって空き家が増え減となったのか。

館野建設課長

41戸の空き家が発生している。この中で特に元町東団地が22戸ある。政策的空き家との位置づけはないが除却に向けてと考えると政策的空き家の意味合いはある。空き家の要因としては建築年数や設備面などにより入居希望者から敬遠されている。

【生出委員】

経過年数などにより敬遠されるということだが少しでも改善して住宅事情をよくしてすぐ入りたいという人に提供していくべきと考えるが。

館野建設課長

耐震基準の関係で昭和57年以降の住宅は国の補助もあり個別改善を行っているが、それ以前の住宅

予算特別委員会は3月5日から7日までの3日間開かれ慎重に審議しました。その中での質疑の一部を掲載します。

については耐震基準に合致していないことから、耐震化しての改善は難しい。東中央団地の昭和48年から55年の間に建てられた部分が建て替えの計画中である。

【岡委員】

保育料については幼児が2人同時に入所している場合には2人目が半額、同時入所に関わらず兄弟で3人目以降は無料となっている。同時入所できなくとも2人目を半額にする考えはないのか。

また学童保育所は働いている親にとつてはとても重要な役割を果たしており、5時半という時間も含めて6時ないし6時半までの延長保育を求める声等もあるがその点検討されているのか。

萩尾住民課長

保育料については、道の補助事業を受けて0歳から2歳児に対する第2子の保育料を無料として取り組み始めた。3歳以上については近隣町村の動向を見ながら検討していく。

萩尾住民課長

学童保育の受け入れの時間につ

いては支援員の体制もあるが希望を取りながら6時までの延長は進めていきたい。

【酒井委員】

高校寄宿舎稼働率と使用料の滞納状況を伺いたい。

中上高等学校事務長

稼働率については44名定員のところ35名が現在入寮している。滞納についてはない。

【卯城委員】

地域子ども未来応援交付金とあるが、どのような事業を対象にしているのか。

萩尾住民課長

地域子ども未来応援交付金は町子ども子育て支援計画を来年度から策定するにあたり、事前に町内全体の子育てに関するアンケート調査を行うための国からの交付金。

【卯城委員】

ふるさと納税寄付金で収入600万に対し支出543万円、最終的には57万円しか残らないが。

上林総務課長

基本的には寄付金の3割は地元の特産品を使って返礼しているのが地域の経済にいい影響もあるのでご理解をお願いしたい。昨年11月から一部リニューアルもして楽

天市場のサイトにもふるさとチョイスに加えて載せてPRをしているので若干ずつでも増えていけばと考えている。

【大澤委員】

ふるさと納税は前年度を下回る見込みで、支出はネットの登録料等ランニングコストが上昇している。以前町長はふるさと納税を貴重な収入源と捉えていて積極的に取組んでいきたいということだったが、57万しか税収として浮かないという状況はとても意気込みを感じられないがどう考えているのか。

早坂町長

確かに数字的に消極的だと言われることは否めない。スタート時は100万円を超える収入があり地域の経済や税収に貢献したことから商品のリニューアルを刺激として昨年度を上回るように頑張りたい。

【大澤委員】

基金については長年ほとんど動いていないものがあり基金を組み替えて有効的に活用していくべきではないのかと継続して質問されてきている。以前から必要性は感じて一度検討したいとの答弁はあったがその動きはない。研究され

たかどうか。

上林総務課長

今年度予算では具体的な組み替えの検討はしていない。ただし、年数も経過して取り崩し等組み替えられる部分もあるので今後検討はしていきたい。しかし基本的に基金の額も現在の20億程度は保持したいという考えなので出来るだけ積立額を増やしたり、維持する方向で努力をしていきたい。

【岡委員】

町有施設維持管理の点で役場前駐車場の排雪が進まなかった。役場庁舎は沢山の来訪者があり、ドクターヘリの発着場としても駐車スペースを大きく確保しておく必要があることから今後駐車場維持に関してどう考えているか。

上林総務課長

指摘のとおり今年は大雪で駐車場のスペースが本場に狭い状況が続いていた。公共施設の排雪は随時実施してきているが、降雪量に追いつかなかつた。緊急的な対策としては職員の通勤時に極力徒歩でくるように指示して最大限の駐車スペースを確保するようには努めてきていたが、スペースが足りない状況が続いていた。何とか対策

策はとらなければならぬが、現段階でそこまでには至っていない。

【大澤委員】

施政方針の中で地域おこし協力隊においては隊員が任期満了後も引き続き本町に定住してもらえよう最大限の支援をするとはつきり明記されているがどのような支援の準備があるのか。

町としては3年間の間に地域おこし協力隊の事業費を使って隊員たちの3年後を見据えた活動に金銭的にも金銭以外の部分でも色々なアドバイスを含めて支援をすることとしている。3年経つたあとに創業する場合には、創業にかかる経費について国の特別交付税の枠を用いて支援する施策もある。

【酒井委員】

宗谷本線の活性化の点で、職員の出張でJRを使う等の話にはなっていないのか。

サハリンとの国際交流は、いつまでやるつもりなのか。

穴戸町づくり観光課長

路線ダイヤの見直し等の方策のうちの一つに地元でも利用促進を図っていくこと、それから駅に賑わいを取り戻していくような取り

組みも必要ではないかという議論が行われている。職員の出張の際に列車を利用しなさいという働きかけは現段階では行っていないが、住民にも利用促進を積極的に進めていこうという話になれば、今後行っていかなければならない。

国際交流についてはサハリン州のアニツ市と姉妹都市提携の話もあったが具体的には進んでいない。当面の間サハリン北海道体験友情の翼ということで子どもたちが行き来してサハリン州との交流を行っていく。現段階ではこの活動を通じて住民周知、住民理解に努めたい。

【佐藤委員】

U・J・ターナー者就業奨励金事業について現在での取り組み状況を説明してもらいたい。

穴戸町づくり観光課長

中小企業等への新規就業者に対して奨励金を支給することによる町内定住人口の確保と定着を図ることを目的とする事業。現在の対象者は6名で平成30年度においても新規申込みを5名見込んでいる。

【卯城委員】

高齢者生活支援事業220万だが、配食サービス・除雪サービス等の

現状はどうか。

精進健康福祉課長

配食サービス、除雪サービスについては利用者が増えている傾向。特に配食サービスについては高齢者、1人暮らしのお年寄りも増えていることから少し増えている。

【高橋（一）委員】

健康福祉センターは様々な高齢者の方が相談に行っていると思う。担当職員から色々な説明を受けても再度行ったときに誰と相談したかわからない。土別市役所の福祉課関係は全て相談に来た方には名刺を渡しているそうで、剣淵でも何か対策を取っては。

精進健康福祉課長

相談窓口での担当者がわからないという点では早速名刺を配るなど、個人の名前、電話番号が判りやすく伝えられるよう取り組んでいきたい。

【大澤委員】

病後児保育については整備された市町村が徐々に増えてきているが、検討されているか。

萩尾住民課長

ニーズ調査を今後行って、その中で要望を汲み上げていくことができるのかなということ、病後

児保育になると施設の中に有資格者を配置していくということが必要になるのでそれらも勘案しながら検討していく。

【富山(弘)委員】

0歳児保育は剣淵町では受入れたくないという声があったのだが0歳児でも受入れは可能だという解釈でいいのか。

佐藤保育所副所長

概ね1歳ということであるが育児休業明けで慣らし保育で少し早めに入りたいとか育児が大変なのということと事情によっては0歳児も受入れている。

【卯城委員】

健康診査はどう受診率を高めていくのか。

松村健康福祉課主幹

個人に対してできるだけ訪問して保健指導なり未受診者に対しては未受診理由を確認するというような動きで次年度は一つずつ行っていくきたい。

【大澤委員】

インターネットショップサイト販売業務205万9千円とあるが、サイトを確認したら今販売しているのはお米と味噌だけであった。サイト運営のランニングコストは今

後ショップを開設したらずっとかかってくると思うが、もし年間の売り上げが10万円とか20万円とかであれば意味もないような業務になってくるのだがインターネットショップの販売にかかわる、物の仕入れ値以外のランニングコストの部分にどれだけ経費がかかっているのか。

長谷川農林課係長

年間の費用で約20万円ほどかかる計算になっている。販売1つの商品に対して道の駅の手数料と同様に15%となっている。その点でいくと20万円程度の使用料であればプラス収支を維持することが可能だと判断している。

【富山(真)委員】

種いもがなくなるのではこの心配がある。種いもに関する支援事業が必要と思われるが。

竹内農林課長

中山間事業で種いも農家の支援を行っている。更なる支援事業についてはJA北ひびきと1市2町で協議を重ねているところ。

【大澤委員】

観光に関しては役場が基本的な問い合わせ窓口であり、様々なことを進めている。現在観光に力を

入れている市町村は観光協会の事務局長を全国公募し、特化した人に報酬を払い問い合わせ窓口を一本化し、観光客の人たちがスムーズに楽しめるような仕掛け作り、体制を強化している。剣淵もこれまで地方創生のお金を投入して備品も揃っている。今後色々仕掛けしていくのであれば早急に検討していく必要性があるのでは。

宍戸町づくり観光課長

観光協会の運営体制については町としても重要な課題と考えている。指摘のように町が窓口になるのではなく、観光については観光協会が窓口になって剣淵町内の観光を広めることが理想である。本年度の予算協議の中でも将来に向けて観光協会がどうあるべきかを内部で検討してきた。今後大きな予算が伴うので検討を進め、協議の中で実現できるように進めていきたい。

【生出委員】

観光協会の事務の者は1人では全然足りないと思う。ここを人的に強化すべきで道の駅、或いは剣淵への流入人口が50万超えて60万に近い点、インバウンドにも力を入れていく点を考えても、実質事

務をやりながら実働する人間が1人ということでは到底これは不十分だと思うがこの点も早急に町外も含め募集をかけ充実させていくべきではないか。

早坂町長

先ほどの事務局長、観光協会の職員については大きな課題であると認識している。また観光協会の全体の体制もやはり改革していくべきと思う。町民の方々のご理解とご協力を得ながら進めていきたい。

【高橋(一)委員】

サイクリングイベント、べるっどライドは地元の浸透が全くなされていない。観光大使のほうから数件電話を入れての協力要請はあったが、全町的な盛り上がりが必要だと思いがどうか。

宍戸町づくり観光課長

30年度以降の開催にかかる課題と考えている。町外の多くの方に来ていただくのと同時にその方々をお迎えする町の体制づくりや、町内からも多くの参加を得るよう取組んでいきたい。

【酒井委員】

昨年のべるっどライドは運営がスムーズでなかったと思う。今年

予算特別委員会

度はどのような考え方で運営していくのか。

宍戸町づくり観光課長

昨年度は地方創生の推進事業交付金事業を活用して開催業務を委託し実施した。今年度については町、観光協会、商工会等による実行委員会を立ち上げ実行委員会が運営をし、アルパカ牧場に各種業務を請け負ってもらおう。

「大澤委員」

桜岡パークゴルフ場管理運営事業575万円に対して使用料は近年のパークゴルフ人口減少、高齢化などで少なくなってきたており大幅に町の負担が増えている。これまで様々な改修や管理の面でお金を投入している以上、何らかの手を打っていかねばいけないと思うが。

宍戸町づくり観光課長

年間500万円程の経費がかかる。以前は600万円から700万円の収入があったが現在では100万円に満たない状況。素晴らしい施設なので利用者が増えるような手を打っていききたいが、高台コースは起伏が激しく高齢者の方に敬遠されがち。今後利用者が増えるよう研究していきたい。

「畠山(弘)委員」

道の駅のレストランで雨漏りがあり床に雑巾やタオル、毛布があつてそこにバケツが2箇所置いてあつた。食事をする場所なので工夫するか、パーテーションなどで目隠しするなどの配慮をすべきでは。

宍戸町づくり観光課長

屋根に積もつた雪が鉄板の隙間を通つてすがもりしている状況。食事をする横でこのような状況はあつてはならない。今後目隠し等の対策をとることを徹底させていきたい。

「岡委員」

スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー・教育相談室専任指導員などはいるが本当に困っている子ども、親はその現状を隠す傾向がある。そのような中で相談しやすい環境をどう作っていくのか。

金村教育課長

小・中・高一体となつて学校と家庭と地域をつないでいく中で様々な相談に相談室として対応していきたい。

「大澤委員」

寄宿舎費について高校の学生寮

使用料は破格の料金設定だが、近年の燃料費や人件費、食材の高騰の中で多少の値上げもやむを得ないと感じる。使用料金は運営面において無理のかからない設定となっているのか。

中上高等学校事務長

寄宿舎は生徒募集の面で有利に働いており、建設当時から現在の価格で推移してきていて見直しは一度もかけていない。今後運営面で負担になつていないか検討してみるのが、できるだけ値上げをしない方向で運営していきたい。

「高橋(一)委員」

昨年5月31日にチャレンジデーが開催され沖縄県の大宜味村と剣淵が初めてこの事業に取り組んだ経緯にある。日程的に農家にとっては時きつけの真っ最中で、15分30分もなかなか時間がとれない。時期はずれせないのか。

金村教育課長

PRを早いうちから進めるが笹川スポーツ財団の全国規模の事業で時期の変更は不可能。

「畠山(弘)委員」

ジェネリックについて、それぞれ保険者に手紙が届いていると思うが、目的がわかりにくく戸惑つ

ている人が多いので説明願いたい。中上住民課長補佐

保険証の更新時に周知用のシールを配布している。保険証などに貼り付けることで、ジェネリックを希望するという意思表示ができる。医療費を軽減するという部分では重要なので、引き続き色々な場面で周知をしていきたい。

まちの未来を考えましょう！

議会傍聴に
おいでください

次の定例会は
6月中旬頃の
予定です。



問 高齢者除雪サービス事業を強化しては

答 地域での自助共助をお願いしたい



高橋 毅 議員

高橋毅 議員

今年の降雪は特に多く、日々の除雪に苦労している。高齢・単身世帯や公営住宅の世帯も大変な思いをしている。町でも高齢者生活支援事業の中で除雪サービスを実施しているが、この事業の拡大と強化が必要と思われるが。

早坂 町長

町内も市街・農村部とも、高齢者世帯が増えていることは周知の事実。農業をやめられて市街地に転居される方、引き続き住まれる方がいるが、最近市街地に移る方が増えている。降雪続きで家屋などの除雪依頼が業者や高齢者事業団に多く寄せられている。

町の除雪サービスは概ね65歳以上の単身世帯の世帯、身体障がい者世帯、その他除雪に支障があると認められた世帯となっている。

対象者は通路サービス25世帯、軒下除雪20世帯となっている。最近の大雪傾向は理解しているが、地域での自助・互助・共助の方法をお願いしたい。



雪降しの作業の様子

ふれあいサロン事業の支援と「じんじん号」活用を

高橋 議員

ふれあいサロン事業は現在、西町・緑町・仲町・元町・屯田町で実施している。高齢者の健康状態の変化、認知症予防など事業の持っている役割が大きく、介護予防の観点からも町として力を入れる必要があると思うが、運営をしているボランティアは無償で町民の善意に頼っているのが現状。農村部へサロンを広げていく上でも有償ボランティアの育成が必要。サロン開催時にじんじん号の自治会

館発着を可能にすべきと思うが町長の考えは。

早坂 町長

サロン事業の支援で有償ボランティアについては町民相互扶助の観点から難しいが研究したいと思う。町からは社会福祉協議会を通して、1サロン3万円、奉仕団体より1万円の支援がある。遠足または野外サロンの時は福祉バス等でも支援している。それぞれの支援は十分ではないが、じんじん号を元町自治会館、屯田町自治会館へ4月から連絡施設として利用可能にしたいと思う。また要望があれば私もサロンへ出向きたいと思う。



西町ふれあいサロン事業「なごみ」の様子

問 これまでの4年間を種をまいてきたと表現しているが今後の方策は

答 行ってきたことを検証し継続して発展性を持たせていく



大澤 秀明 議員

大澤 秀明 議員

これまでの4年間に行ったきた政策を「様々な種をまき成長する下地ができた」と強調しているが、今後どのような方策をもって経済の発展、町の利益に結びつけるのか。

早坂 町長

農産物の評価は高まりつつある。農業ブランド化事業を中心に積極的に押し出していきたい。同時に主要農産物の品質確保にも引き続き取り組んでいく。

大澤 議員

今年度のブランド化政策では具体的な戦略を示せた事は評価できる。今後は各農家、各団体等の協力体制を強化し、商工観光業とも連携させていかなければならない。行政が出来る部分を確認し、「種をまいて芽が出た」後のビジョンを明確にしていくことが重要と考えるが。



道の駅の地元商品

早坂 町長

最終的な形を示せるまではまだ至っていないが、現在農産物を加工して付加価値をつけようとする動きが各農家でも出てきている。行政が経済活動の中心にはなれないので、民間の提案を応援していきたいようなものにしていかなければならない。

大澤 議員

個人個人の連携、各団体間の連携などは十分と言えない。町の課題をしっかりと見つめ直し官民一体で問題意識を共有し検証・継続・発展に努めていかなければならないと思うが。

早坂 町長

これから行政運営を行っていく上で重要な点と考えるのでしっかりと取り組んでいきたい。

交流人口の拡充と観光振興におけるPR活動について

大澤 議員

これまで積極的にPR活動を行ってきたが、具体的な目的が見えてこない。これはPR先行にならなくて町側の体制づくりが進んでいないこと、漠然としたものが多いから戦略的なものになっていないからである。今後も積極的に展開するのであれば、ただ闇雲に行うのではなくターゲットを絞る

ことや数値目標・経済効果等も考えた戦略的なものにしていくべきと思うがどうか。

早坂 町長

これからは町全体の紹介の他に、ターゲットや商品を絞ったより具体的なPRを展開していきたい。

大澤 議員

映画「じんじん」のシリーズ化やサイクリングイベント等を通して交流人口の拡大を目指すところがあるが、町を訪れる際の問い合わせ窓口の整備などが進んでいない。町民への観光振興に関する周知も不十分である。早急に整備していくべきと思うがどうか。

早坂 町長

観光振興に力を入れる以上重要な点である。行政関係者、観光関係者だけがとるのではなく広く一般町民の方に携わって頂くのが理想なので町民に広く理解してもらえよう周知していく。観光ボランティアアづくりも考えていきたい。田舎を訪れる人はその地で生活する人とのふれあいを求めている。先日「じんじん」を見て長野から剣淵を訪れた親子の絵本と手記がJTB交流文化賞最優秀賞を受賞したとの知らせがきた。剣淵の人の何気ない優しさ・心温まる出会いに感動した思いを綴ったものである。地域が観光に取り組むことの重要性を講習会や研修会などを通して繰り返し説明していきたい。



畠山真紀子 議員

問 利用しやすい公共施設環境の整備について

答 今後の改修に向けて検討していく

畠山真紀子 議員

レークサイド桜岡の玄関から浴室までの動線は、身体的不自由のある方々にとつては不便である。今後、浴室までの動線を短縮するために次の方法が考えられるが、町長の考えを伺いたい。

- ①浴室前にある階段の手すりに簡易エスカレーターを取り付ける。
- ②同じ場所にエレベーターを取り付ける。
- ③南の玄関口横・前などに昇降機を設置する。

早坂町長

構造上、開発当初のコンセプトの中で、入浴前に歩行による有酸素運動をして入浴効果を高めるとの考え方でデザインを採用した。全面リニューアルも非常に厳しい状況である。

畠山 議員

レークサイド桜岡にも改修の時期は来ると思うので、その時に設置できないか。

早坂町長

計画上改修はあるが、延び延びとなっている。現在のところ、従業員のサポート、車椅子の利用等でご理解願いたい。なお、障がい者用駐車場の位置は、より玄関ス

ロープの近くに設置できるようにしていく。



温泉横の階段

乳児の調乳、授乳環境設備の改善について

畠山 議員

自動調乳機、オムツ処理機をレークサイド桜岡、道の駅、絵本の館に設置し授乳等の環境整備を進めるべきだと考えるが。

早坂町長

オムツは衛生ごみであることから、お持ち帰りいただくのが原則である。ミルクも保温ポット持参が一般的である。しかし、人に優しい町づくりを進めるために、今後、機会があれば検討していきたい。

新規就農者の受け入れ態勢について

畠山 議員

剣淵町では、現在、自分の家の

後継者としての担い手はいるが、全くゼロからの新規就農者はなかなか出てこない。この問題はどこにあるのか。

早坂町長

まず、裸一貫で新規に就農するには、相当の資本投資が必要である。この点を考えると、一概に町で支援するというのはハードルが高い。新規就農者の受け入れ態勢は、平成24年度から剣淵町農商工業新規奨励金の創設をしており、さらに各種支援事業も実施している。現在までの就農実績はないが、今後、担い手の高齢化や離農者が増えれば、より進んだ取り組みが必要になると考える。

畠山 議員

もう少し、使いやすい就農につながる取り組みは考えているか。

早坂町長

海外でよくある「ワーキングホリデー」のような、いきなり本格的な就農を目指すのではなく、就農体験と観光を結びつけた中で進めていければ良いと思う。今後に向けて移住・定住につながるプログラムを検討していきたい。

問 計画策定のあり方・町民の意向が十分に届いているか

答 業者を頼りすぎにせず、担当者同士の打ち合わせを丁寧に行う



岡 康熙 議員

岡康熙 議員

今年度においては「学校施設長寿命化計画の策定」「地域福祉計画及び地域福祉実践計画の策定」「第二期子ども子育て支援事業計画の策定に係るニーズ調査」「ごみ処理基本計画の策定」など私たち町民の生活に密着した諸計画の策定が予定されている。

これら諸計画の立案には、専門的な知識と多大な時間と労力を要することから、策定業務を行うことの困難さや、効率化に限界があることは理解できるが、計画されているそのほとんどがコンサルタント業者に委託されている現状において、町民の意向が十分に届かないのではないかと危惧している。コンサルタント業者委託に対する町長の考えは。

早坂 町長

剣淵町が策定している各種計画の多くは業務の一部をコンサルタント業者に委託して策定している。町民の手で作り上げたいところだが、作業時間や専門知識などの理由から委託はやむを得ない。

地域性に精通している業者を選定し、頼りすぎ担当者同士の打ち合わせを丁寧に行うことで、町民の意向が届くよう進めている。必要に応じて、アンケート調査やニーズ調査を実施している。

岡 議員

計画策定における審議会、協議会、委員会などの委員は、団体の代表者、年配の男性がどうしても多くなりがちである。

幅広い意見を持っている女性や若い世代にも委嘱するなど町民の意見がより反映されやすい選任を行ってもらいたい。

早坂 町長

各団体の代表者にかたよりがちだが、問題意識を持った人などバランスのとれた選任に努め、町民と近い離れない形でやっていきたい。

岡 議員

諸計画策定においては、素案づくりの段階から町民が参加する形で問題意識を共有し、共に目標、目的に向かって協力し合う体制作りが何より大切と考えるがいかがか。

早坂 町長

審議の経過を広報などで公開しながら、様々な意見を伺い、問題意識の共有を持って町民と進んでいきたい。

地域とともにある学校づくり
については

岡 議員

地域全体で子ども達の学びや成長を支えると共に、学校を核とした地域作りを行っていく為には、地域との連携、協働を一層進めていく必要があるがどのように行うのか。

半田 教育長

地域と学校をつなぐ専任のコーディネーターを配置し、地域住民企業、団体など関係者との連絡調整、地域のボランティアの協力を求め、色々な方に関わって頂きながら、公民館活動、新しい町づくり運動などを通して進めたい。

岡 議員

地域での教育と指導が重要視されている今、教育長をはじめ教育関係者が、地域や子どもとの交流を積極的に計り、様々な意見を聞く中で、本当に必要な活動は何かを考え、教育行政を進めていくことが重要と考えるがいかがか。

半田 教育長

子ども達と一緒に遊んだり、子ども達と一層ふれあいを大切に、地域や子どもたちに合った教育に努めたい。



佐藤勝彦 議員

問 再度、商業店舗近代化促進事業を考えてはどうか

答 完了したものと判断している

佐藤勝彦 議員

旭川以北の当該地域の取り巻く情勢は、個人消費の低迷・人口減少・高齢化・後継者不足・事業継承の問題により非常に厳しい環境にある。町内の商店街また商業者の振興について今後活力あるまちづくり・魅力ある商店街を目指していく為には是非とも再度、商業店舗近代化促進事業を考えてはどうか。町としてこれからどのような支援また協力をしていくのか。

早坂 町長

商業店舗近代化促進事業補助金制度は街並整備事業の一環として平成18年から平成22年迄の時限立法で、絵本の里にふさわしい街並の景観づくりと魅力ある店舗づくりを促進する為、5年間合計33件、1億2500万円を補助金として交付し、商業活動の活性化と商業振興を図ることを目的として実施した。

市街地縦断する道々の路面改修や歩道の改修、街路灯の更新に合わせた街並整備事業の一環として実施したもの。制度終了後は財源確保等が困難な為、各事業者には将来を見据えた事業判断をお願いする等十分説明をした事業であり、町ではこの5年間に実施したものをもって商業店舗の近代化促進については完了したものと判断して

いる。

佐藤 議員

毎年のように商工会から要望書が提出されている。11項目程あるが、この中で地元商工業者からの購買促進ということでは、まだ町として町外からの購買が依然として続いている。これからはできるだけ町内業者からの購入を是非お願いしたいので町長から号令をかけて貰いたい。その事で税金として町に入るしこれからいかに町内業者を使うことが有効になってくるかと思う。

早坂 町長

物品の調達、工事関係、事業関係これらについては地元という事は当然考えており、できるだけ地元ということを考慮して発注等を願いたいと1年に1〜2度お願いはしている。

JR剣淵駅周辺の整備について

佐藤 議員

今後、剣淵町に訪れる観光客を迎えるにあたり剣淵駅の駅舎、また周辺の整備についてどう考えているか。

早坂 町長

現在の駅舎については、JR北海道と剣淵町の協定によりそれぞれ自分の負担をして管理しており、周辺土地はほとんどがJRの所有地であり、現段階では駅舎や周辺整備は考えていない。

佐藤 議員

絵本の里らしい駅舎にして欲しいし、観光の出発点はJR駅前・役場になると思うので見やすく大きなガイドマップが必要かと思う。町内の主要な場所にも設置する必要があるのではないか。

早坂 町長

JRの問題は流動的ですぐにできない。JRの考え方が変われば看板も含め位置等も考える。町中への誘導も観光行政の方でも考えていきたい。



JR剣淵駅

問 森の刻の活用策について



酒井 修 議員

答 所有者と会って確認したい

酒井修 議員

西岡町にあるシヨールム森の刻については、町の補助事業を受けて、個人が建設したものであるが、数年前より諸般の事情により、残念ながら閉館している状況であり、雪に埋もれている。この状況が続けば、施設が傷んで使えなくなる可能性が高く、せっかく多額の補助金を出して、施設がダメになつては非常にもつたいたないと思つては考えられないように、買い手も無い状況にあるようだが、何とかこの施設を活用できないか。

早坂 町長

ご質問のように、多額の補助金を交付した施設が手入れもされず、朽ちてゆくことは非常に残念であり、町民のご期待に沿えず、もつたいたないという思いに私も同感である。また、町としても商工会を通じて、補助金を交付したが今と違っては個人財産であり、利用方法においても立地条件や建物の構造上、これ以上の費用負担はできないものと考えている。

酒井 議員

森の刻については、本人も非常に愛着を持っている。ただこのままの状態が続くということを恐れ

ており、希望としては施設の存続を切に願っているというのが実情である。例えば町との売買ということになれば本人は金額的には大きな要望は持っていないと考えているようであり、是非、早急に本人と接触を図ってもらい、どのようなことができるのか、どのような状況なのかということを確認してもらえればと思つている。

元々が店舗のため非常に使い勝手が悪いと思うが、ただ剣淵町にない移住定住者向けの宿泊体験施設的なものとしての価値はあると考える。自然のご真ん中で夏にはホタルが飛び、秋にはカメムシが飛び、冬はこれぞ剣淵という地域であり、真の剣淵町を体験できる施設ではないかなと思つている。

早坂 町長

確かに大事なことは大事だが、行政のお金としては手も足も出ないという部分である。しかし、今言われたように情報として色々な考え方があつたということを示されたので、取りあえずは所有者に会つて、考え方を確認してみたいと思つ。結果はわからないが、情報

として橋渡しをしてもらつたので、お会いしてみたいと思つているので、ご理解をお願いしたい。

酒井 議員

交渉の結果がどういふようなことになるか私にもわからないが、その内容は全てお任せしたいと思つ。今年の大雪で倒れるかもしれないので、できるだけ早く接触をもつていただければと思つ。



森の刻

みんなの声がまちづくり

① 剣淵町をどう思いますか？

優しい人が多くてとても住みやすいまちです。特に子どもたちが優しい。
年下の子に対し声を掛けて面倒を見てくれる子が多い。
心配な部分は、店や病院が少なく公共交通機関が不便なこと。
高齢になり、車の運転ができなくなった時を考えると生活が不安。

西 町

鈴木 あゆさん



② もし町長になったら何をしたいですか？

現状では働ける場所が少ないので、幼い子がいても働ける場所、環境を作る。
いろいろな年齢の人達が気軽に集まれる場をつくる(カフェなど)。
より子どもに優しく、親にも優しい、いつでも安心して預けられる絵本の里にふさわしい保育所をつくる。

① 剣淵町をどう思いますか？

人々が明るく、誰にでも優しく接する町。
農作物の生産やアルパカ牧場などで豊かな自然が活かされている町。
教育、福祉の分野が充実しており安心して暮らせる町。
町民が生き生きと夢や目標に向かって日々進んでいる町。

剣淵中学校 生徒会長

高橋 伸太郎さん



② もし町長になったら何をしたいですか？

☆「剣淵町ツアー」の実施

町外から観光客を呼び、絵本の館・道の駅・アルパカ牧場など剣淵の誇れる名所を紹介する。生産者の話を聞き、おいしい農産物を食べてもらう体験を通して、剣淵の良さを町外にも広く知らせることで、町全体が賑わう。

☆「学力向上の日」をつくる

月に1度、地域の大人の方々々に勉強を教えてもらう場をつくる。
地域の方との交流を通して物事への理解力が深まり、将来の選択肢も増える。

表彰

高橋毅議員は、2月に開催された全国町村議会議長会総会において、議員として15年以上在職し功労があったとして表彰されました。



人事

1月1日付けで異動になりました。よろしく願います。

議事事務局長

鹿野 利喜夫



前農業委員会事務局長